平成 13 年 8 月 3 日

各　　位

会 社 名　トレンドマイクロ株式会社
代表者名　取締役社長　チャン　ミン　ジャン
(コード番号４７０４　東証第一部)
問合せ先　取締役　財務経理部門担当
マヘンドラ・ネギ
（TEL．０３－５３３４－３６００）

当社連結子会社であるアイピートレンド株式会社の営業譲渡、解散及び清算及び売上計上基準の見直し並びに当社及び当社連結業績の通期予想修正のお知らせ

平成 13 年 8 月 3 日の当社取締役会において、当社の連結子会社であるアイピートレンド株式会社の営業の全部を当社及び株式会社アイピースクエア（当社と人的及び資本的関係はありません）へ譲渡し同社の解散及び清算手続を開始すること、及び売上計上基準に関する会計処理方法を見直すことを決議いたしました。またこれらの決議及び昨今の事業環境等を鑑み、当社及び当社連結業績の通期予想を修正いたしましたので下記のとおりお知らせいたします。

記

1．当社連結子会社であるアイピートレンド株式会社の営業譲渡、解散及び清算について

（1）アイピートレンド株式会社の概要

名　　称　アイピートレンド株式会社
住　　所　東京都中央区日本橋人形町二丁目 13 番 9 号
代表者の氏名　マヘンドラ　シン　ネギ
資　本　金　218 百万円
発行済株式数　240,000 株
株 主 構 成　トレンドマイクロ株式会社　100%
事 業 の 内 容　インターネット基盤技術関連ソフトウエアの製造及び販売並びに関連サービスの提供

最近事業年度における業績の動向

項目＼年度	平成 11 年 10 月期	平成 12 年 10 月期	平成 12 年 12 月期（2 ヶ月決算）
売上高（百万円）	1,484	1,301	227
経常利益（百万円）	89	△110	△20
当期利益（百万円）	39	△113	△22
総資産（百万円）	1,011	782	921
純資産（百万円）	345	283	257

（2）譲渡する事業、資産及び負債の内容

①株式会社アイピースクエア

リアルタイム OS 事業並びに同事業に関わる設備機器、仕掛業務及び前受金

②当社

上記を除く全事業並びに全資産及び同額の負債（第三者に対する債務は全て当社が引き継ぎます。）

（3）譲渡価額

営業譲渡実施日の時価を算出し譲渡価額といたします。

（4）当該営業譲渡、解散及び清算のスケジュール

営業譲渡締結日　平成 13 年 8 月 3 日

営業譲渡実施日　平成 13 年 8 月 31 日までに譲渡が完了する予定です。

解散予定日　平成 13 年 9 月 3 日

清算結了予定日　平成 13 年 12 月中

（7）営業譲渡、解散及び清算の理由

中小企業向けアプライアンスサーバの市場拡大が進まないため、同社事業の再構築を行い、グループ全体の効率化を図るために当該営業譲渡、解散及び清算を行うものであります。

2．売上計上基準に関する会計処理方法の見直しについて

平成 13 年 2 月 15 日の当社取締役会におきまして、日本及び台湾の売上計上基準に関する会計処理方法の変更を行うことを決議し、平成 13 年 12 月期より売上の一部を一旦繰延べ、契約期間にわたって売上を按分して計上しておりましたが、平成 13 年 8 月 3 日の当社取締役会におきまして、取引の実態を更に適正に表すことを目的に、製品ごとに売上の繰延比率を見直すことといたしました。

この見直しにより一部の製品で売上げの繰延比率が増加し、その影響により当連結会計年度において 15.4 億円、当期業績（単体）において 15.3 億円を新たに特別損失として計上いたします。

3. 当社及び当社連結業績の通期予想修正のお知らせ

（1）当期の連結業績予想数値の修正（平成 13 年 1 月 1 日～平成 13 年 12 月 31 日）

	売　上　高	経常利益	当期純利益
前 回 発 表 予 想 （ A ）	30,000 百万円	10,000 百万円	4,800 百万円
今 回 修 正 予 想 （ B ）	29,000 百万円	8,200 百万円	1,800 百万円
増 減 額 （ B － A ）	△1,000 百万円	△1,800 百万円	△3,000 百万円
増 減 率 （ % ）	△3.3%	△18.0%	△62.5%
（ご参考） 前期実績（平成 12 年 12 月期）	21,834 百万円	7,322 百万円	4,722 百万円

修正の理由

①米国、欧州、日本などで企業の情報化投資額が伸び悩み、ネットワークセキュリティ関連の投資につきましても抑制の動きが出てきております。当社グループの製品販売動向に対する影響を考慮し、従前の当期連結業績予想の数値から、売上高を 1,000 百万円、経常利益を 1,800 百万円減額いたしました。

②当該連結子会社株式取得に伴い発生した連結調整勘定は、無形固定資産に計上し、5 年間にわたって均等償却を行ってきましたが、同社の解散及び清算決議に伴いその未償却額 2,000 百万円を一括償却し、当中間連結会計期間に特別損失として計上することといたしました。アイピースクエア株式会社への当該連結子会社の一部営業譲渡による当社連結業績への影響は軽微であると見込んでおります。

③売上計上基準に関する会計処理方法の見直しに伴い、特別損失が 1,539 百万円増加いたしました。

（2）当期の単体業績予想数値の修正（平成 13 年 1 月 1 日～平成 13 年 12 月 31 日）

	売　上　高	経常利益	当期純利益
前 回 発 表 予 想 （ A ）	15,000 百万円	3,600 百万円	1,300 百万円
今 回 修 正 予 想 （ B ）	14,000 百万円	3,000 百万円	△2,000 百万円
増 減 額 （ B － A ）	△1,000 百万円	△600 百万円	△3,300 百万円
増 減 率 （ % ）	△6.7%	△16.7%	△154%
（ご参考） 前期実績（平成 12 年 12 月期）	9,426 百万円	2,533 百万円	2,038 百万円

修正の理由

①米国、欧州、日本などで企業の情報化投資額が伸び悩み、ネットワークセキュリティ関連の投資につきましても抑制の動きが出てきております。日本国内の当社製品の販売動向に対する影響及び海外子会社からのロイヤリティ収入に対する影響を考慮し、従前の当期業績予想の数値から、売上高を 1,000 百万円、経常利益を 600 百万円減額いたしました。

②平成 13 年 6 月 30 日現在で債務超過の状態にある当該連結子会社の営業譲渡、解散及び清算に伴い、当社の同社に対する貸付金の放棄が予想される為、同貸付金に対して貸倒引当金 370 百万円を計上するとともに、同社株式 2,800 百万円を全額評価減し、それぞれ当中間期に特別損失として計上することといたしました。当該連結子会社の営業の一部を譲受けることによる当社業績への影響は軽微であると見込んでおります。

③　売上計上基準に関する会計処理方法の見直しに伴い、特別損失が 1,530 百万円増加いたしました。

以上